

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岡山市立高島中学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒703-8206  
岡山県岡山市中区賞田190-1

E-mail takashimc@city-okayama.ed.jp  
Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~takashimc/>

幼児児童生徒数 男子 257名 女子 246名 合計 503名  
幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「お互いを尊重し合い、地域の歴史・文化を継承し、ふるさと高島を受け継ぐ郷土愛を深める教育」を活動テーマとしている。また、ESDを、生徒が様々な角度から環境・共生社会についての諸問題について考えを深めることができるようにする機会と捉え、ESDの実践を通して、地域社会の一員として、持続可能な住みよい社会づくりの一端を担える力の育成を目標とした。

具体的には、郷土愛プロジェクト、共生プロジェクトを柱に、①溝さらえに係わる活動、②クリーン作戦に係わる活動、③支援学校交流に係わる活動、④もちつきイベントに係わる活動などを行った。

### ① 「溝さらえ」に係わる活動

5月26日に行われた、学校周辺や校内の溝の泥やゴミをさらえる活動で、生徒会の呼びかけで、ボランティアの生徒や保護者、教職員等、約310名が参加した。学区内に天然記念物アユモドキの生息地である河川があり、自分たちの生活排水が周辺河川・田畑の水質に直結していることを知り、「なぜ水質が悪くなるのか」という課題意識をもち、環境問題に対する意識向上をねらった。

## ② 「クリーン作戦」に係わる活動

生徒会の呼びかけで、ボランティアの生徒や保護者、教職員等、約230人が参加し、7月15日に実施された。学区のゴミ拾いや校内の草とりや清掃活動に取り組んだ。地域を保護者と共に歩くことで、地域には、名水として有名な雄町の冷泉があり、酒米である雄町米を産する自然豊かな地域であることや古代からの史跡が点在する文化財の宝庫であることを再確認するとともに、落ちているゴミが自分たちの生活に密着したものであることを知り、環境問題が自分たちの問題であるということを改めて認識した。夏の暑い時期であるため、活動のあと、地域や保護者の方々から、かき氷の差し入れをいただいた。

## ③ 「支援学校交流」に係わる活動

ボランティア（約20名×3学年）による実行委員を中心とした支援学校の生徒たちとの交流会の実施（7/11, 2/16）。また、「年賀状の交流」や「車いす体験」（6/9）を通じて、相手の立場や気持ちを考え、共生社会を育むために自分たちに何ができるかを考えた。

## ④ 「もちつきイベント」に係わる学習

学区が雄町米の産地であり、名水を利用したお酒造りや正月のお飾りづくりが盛んな点を生かし、生徒会を中心として、地域や保護者の方々、ボランティアの生徒と共に、日本古来の伝統行事「もちつき」を行い、伝統文化や郷土とのつながりを学んだ。そして、体育館では、自分たちの郷土を美しいまま未来へどうやってつなげていったらよいか、共生社会を育むために自分たちに何ができるか等、これまでの学習で深めてきた考えを新聞やポスターなどで、地域へと発信した。



① の写真（溝さらえ）



② の写真（クリーン作戦）



③ の写真（支援学校交流）



④ の写真（もちつきイベント）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他( 放課後や休日 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ESDってなんだ? (vol.1) ーはじめてESDを実践する先生のためにー
ESDってなんだ? vol.2 「ESDを学校ですすめるために」
岡山子どもESDフォーラム Okayama ESD Student's Forum 2017 岡山市ユネスコスクール推進校 岡山市立高等学校 実践事例集
ウェブサイト「地球温暖化について」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校の年間計画の中に行事として予定が組まれており、それぞれの行事を見定めながら、各担当が準備に取り組んでいる。校務分掌図にESDの区分が明示され、組織上の位置づけが明確になっている。指導内容は、生徒会を中心に、ボランティアを募るかたちで活動することが多く、それぞれの活動のねらいや目標が設定されている。実施後のふりかえりを次年度に生かしている。特に、ボランティア参加への意識づけ、地域貢献を重点的に指導している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

全ての教科・領域と関連付け、生徒が、様々な角度から環境・共生社会についての諸問題について考えを深めることができるようにするために、各教科・各担当に、一年間を見通した、関連表を作成している。また、教育課程・学校の年間計画・校務分掌・各教科の年間指導計画に位置づけがなされている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

年2回実施している学校評価アンケート（生徒、教職員、保護者、地域の方を対象）の中に、ESDの関連項目を組み込んで、分析を行っている。まず、あいさつへの意識が少しずつ向上しているという結果が得られている。また、地域貢献への意識向上や自己肯定感の向上に関して肯定的評価が増えてきているという結果がでている。ESD担当としては、ボランティアの数の減少が気になるところであり、今年度は、特に一年生に対するボランティア活動の意識向上の取り組みが望まれるところである。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校だより、文化祭でのESDの発表、もちつきイベントでの各委員会からの発表、学期末や年度末の支援学校交流の発表などがある。文化祭でのESDの発表は、生徒会執行部が、プロジェクターを使って、全校生徒や来場の保護者や地域の人に向けて、高島中のESDの取り組みを説明している。もちつきイベントの発表では、各委員会が発表の方法や内容を考えることで、主体的・積極的な意識の変容が期待できる。支援交流の発表では、参加者の体験を全校で共有することができる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

公民館、民生委員会協議会、愛育委員会、連合町内会、中区保健センターなど、各種団体の方々と協働・交流をもちながら、色々な活動を推進している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの生徒同士の交流はできていないが、ESD担当者として、岡山市内のユネスコスクールの小中学校の担当者と情報交換の会に参加している。また大きな会では、国内外の小中学校とのスカイプなどを使った生徒同士の交流等の発表を聞いた。また、岡山市の姉妹都市のあるブルガリアの視察や生徒の交流などの発表では、ESDの取り組みが、英語学習の意欲向上に貢献しているとの報告を受けた。指導者が、研修に参加し、国内外の取り組みを参考にしている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

ボランティア参加を重視しており、生徒会を中心に自主的・意欲的に活動に取り組むことができた。  
活動への参加を通じて、地域の人々とのかかわりの中で、自己肯定感の育成、地域貢献への意欲向上、あいさつへの意識向上がみうけられた。  
学校内での同僚との協力、協働関係が強化、促進された。  
保護者が積極的に学校に関わろうとしてくれており、活動を通じて、保護者同士のつながりが見られるようになった。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

<郷土愛プロジェクト>

- ・「溝さらえ」（5月23日）  
自分たちの生活が周辺環境に大きな影響を与えていることを知る。
- ・「クリーン作戦」（7月14日）  
地域は、古代からの史跡が散在した文化財の宝庫であることを再確認するとともに、落ちているゴミが自分たちの生活に密着したものであることを知り環境問題が、自分たちの課題であることをあらためて認識する。
- ・「もちつきイベント」（12月15日）  
学区が雄町米の産地であり、名水を利用したお酒づくりや正月のお飾りづくりが盛んな点を活かし、日本古来の伝統行事「もちつき」を地域の人々と行うことで、伝統文化や郷土とのつながりを学ぶ。

<共生プロジェクト>

- ・車いす体験学習（6月）  
共生社会のために自分たちができることを考える。（1年生）
- ・岡山支援学校交流（7月11日、2月15日）  
年に2回、岡山支援学校との交流会を開催する。交流を通じてお互いを知り、理解し合うことで、よりよい共生社会を築くために、自分たちが為すべきことへと考えを広げていく。また、「年賀状交流」や文化祭の「作品交流」なども行い、年間を通じてつながりを深めていく。